

河合公民館視察訪問に参加して。。。

<大胆な発想の転換に驚き>

昨年からのコロナウィルスの影響で、公民館事業がほぼ動けない、活動していない状況下において、「コロナ」だから出来る事、それはスマホ（LINE）を利用し仲間づくり、情報の伝達を行う事を見つけ、それを核にして河合地区の情報網を築き上げると言う考えは素晴らしい事です。

そして、それを地区住民に根気よく説明した事により、最初はなかなか理解してもらえたかった事が、たった一人でも賛同してもらえた人が出てきた事によって構築できたと考えられます。

アイデアと行動力が必要と言うことが良く理解できました。

東安居公民館運営委員長（みなみブロック理事）
竹内 清

<調査研究委員会を感じた公民館パワー>

コロナ禍での開催が心配していましたが、訪問が実現し受諾頂きました事を感謝しております。
「LINEで公民館とつながり、情報受信する『防災訓練』」について、大変興味深く楽しみにして出席いたしました。

パワーポイントで詳しく説明頂き、コロナ禍での制限を逆手にとった「コロナ禍だからできる事をやろう」の発想で、数年前から暖めていたSNS(LINE)を活用した住民への情報発信と参加意識の大切さを一貫して具体化された内容が十分理解できました。

又、公民館の事業展開には、時代と住民ニーズが求めることを把握し、困難、無理を克服しながら根気よく継続することが大切であることを改めて感じさせられた委員会研修でした。今後の私達の参考として取組みたいです。

お忙しい中ありがとうございました。

明新公民館運営委員長（九頭竜ブロック理事）
黒川 賢治

<有意義な調査研究>

まず、平井館長から河合地区の概要、コロナ禍での公民館活動について説明を受けた。続いて、藤田主事より河合地区の防災事業について、河合地区の「自主防災会」の発足当時の組織づくりの苦労話から現在の組織に至るまでの諸問題、地区民の協力・理解を得るまで約10年の年月を要したとスクリーンを通して説明を受けた。我が地区でも「防災委員会」「女性防災部会」組織は発足、活動はしているが、年1回の公民館での「防災訓練」に参加する程度で、日頃どのような活動をしているのか私自身掌握できていません。

藤田主事の講演の中に公民館によりを毎回活用してライン登録を地区民にお願いして、今活用しているとのことであった。

我が地区も九頭竜川をはさんで隣地区になるため、河合公民館と交流はあるようですが、さらに交流を深め、我が地区的防災活動に活用出来ればと思いました。

有意義な研究会で他地区の動向が理解出来るので、巡回訪問は継続実施して欲しいと思います。

宮ノ下公民館運営委員長（川西ブロック理事）
片川 秀則

<河合公民館の自主防災の活動について>

まず、訪問させて頂きましたのは、主事さんの行動量の凄さ。地区を良くしたい気持ちが伝わってきました。

また、新しい活動を始める事での理解を求めるため館長や運営委員長が地区住民とのパイプ役として行動されていて、チームワークの良さを感じました。

防災に対する意識を高めるためにLINEを通じて、地元のローカルな情報やイベントの告知を流すとともに、コロナ禍で集まることのできない防災訓練を、LINEで安否情報や情報の報告など行う活動は、防災だけでなく公民館が地区の方の拠点になるための糧になると感じました。

非常に勉強になりました。ありがとうございました。

円山公民館運営委員長（あづまブロック理事）
近藤 靖至

<河合公民館を訪問して>

館長、職員の防災意識が高く、そして地域住民の協力が有ってこそ事業ができると思いました。館長、職員、各団体の努力により公民館事業が出来ると思います。LINEで緊急連絡配信など、素晴らしいアイデアの思いつきに感銘をうけました。

この調査研究委員会の講義を見て、聴いて、地域の人たちと考えたいと思います。やはり人と人との絆が大切で、各団体の連携の良さが完璧に出来ていると痛感しました。河合地区の事業の素晴らしい企画に感動しました。有難うございました。

一光公民館運営委員長（光ブロック理事） 嶋田 茂

<「継続は力なり」を実践>

冒頭、平井館長の「コロナだから出来ないではなく、コロナだからこそ出来ることはないか」とのスタンスで公民館事業を進めているとの言葉には、目から鱗の感がありました。この10年に亘り地域防災の重要性を地区民に認識してもらうべく公民館が先頭に立って、啓発・実践活動に取り組み、併せて地区民（老若男女）が興味を持つような事業を実行してきた結果、公民館が地区民から頼りにされるようになってきました。又その防災事業もコロナ禍の中、当初の紙ベースからLINEと言う新たなツールで様々な情報を発信し、イベント実施のパンフ等にもLINE登録の呼びかけを1年間続けた結果、地区住民の半数強の世帯が登録しているとの事、大いに参考にしたい。

森田公民館運営委員長（運営連監事） 佐孝 寿史



令和3年度福井市公民館運営審議会連絡会 調査研究委員会報告書

<調査研究委員会>

平成11年より、よりよい公民館活動を支援するための研究課題として、公民館関係者と利用者の意識を把握すること目的に市内公民館視察訪問を実施。

訪問先：河合公民館

訪問日：令和3年11月26日(金) 14:00～15:30

参加者：11名

(調査研究委員、生涯学習課三原主査、事務局)

河合地区の概要 (世帯数) 1,342世帯

(人口) 3,781人

2021.10.1現在



<視察訪問当日の流れ>

- ・運営連 江川政博会長あいさつ
- ・河合公民館 平井博政館長あいさつ
- ・河合地区の概要、コロナ禍での公民館活動について（館長 平井博政）
- ・LINEを活用した防災事業について（主事 藤田育代）

The poster includes the following text:
LINEで公民館とつながり、情報受信する訓練です！
河合地区防災訓練
とき 令和3年 6月27日(日) 8:00～(配信開始) 場所 各ご家庭・他
緊急連絡配信訓練
まずは携帯“LINE”で繋がりましょう!
今年はスマートで情報受信訓練!
河合の情報知る訓練!
【緊急連絡配信とは】
平常時には公民館・地区的情報を発信しているLINEの「ビジネスアカウント」を使用し、震災直後は各町内の地震・水害・雪害等の被害状況を発信。その後、避難所の開放等の情報を発信。
2021/6/27 8:00
【訓練】
河合地区防災情報配信中!
2021/6/27 8:00
【訓練】
河合地区防災情報配信中!
2021/6/27 8:00
【訓練】
河合地区防災情報配信中!



江川会長あいさつ



活発に意見交換が行われました

- ・質疑応答・意見交換
- ・「ほっとコンサート 2021 かわい de HAWAII」(河合地区PR Youtube動画)視聴
- ・河合公民館 関英治委員長より閉会の言葉
- ・調査研究委員会 深草光夫委員長より謝辞
- ・集合写真撮影